



### 春なのに 日焼けしてます

佐藤 凱翔

4月に入り、昼間の気温が25度以上。30度になった日もあ  
る。「イヤー今日は暑かったあ」と毎日  
のように言うじいちゃん  
とパパ。4月20日。  
最高気温27度。ガン  
ガンジリジリの天気。  
保育園の歓迎遠足の  
日。たしか去年も暑  
かった覚えがある。  
ママは暑いとイライ  
ラ。保育園から歩い  
て10分、15分位の  
所にある公園。去  
年は、公園から保  
園まで走って車を取  
りに行けと言うママ。

その事を思い出し、  
今年絶対に取りに  
行かないと宣言。  
「今年初めから車  
で行くよ」と言うマ  
マ。よかつたような  
悪かつたような・・。  
まあよし。そんな感  
じで始まった遠足。  
早起きして作ったサ  
ンドウィッチ。暑さ  
で体力使うのかお腹  
すくのが早く、10  
時半過ぎた頃にもう  
お弁当。「今日はマ  
マが作った」この言  
葉を聞いてびっくり  
する先生や同じクラ  
スの人たち。褒めら  
れちよつぱり嬉しそ  
うなママ。暑いイラ  
イラは思ったほどな  
いママ。去年よりマ  
マ友や仲の良い先生  
が増え不安が減った  
のかな？普段見れな  
い保育園の子どもた  
ちと遊ぶらんちゃん  
とおちゃんの様子。  
友達と話してるらん  
ちゃん。年上の子に  
まぎれてすべり台に  
行くあおちゃん。  
そんな二人を見れ  
てパパは楽しく過ご  
せたかな。

は、長崎へ。長崎帆  
船まつり。土曜日は  
ママが休みで遠足に  
来て日曜日は、じい  
ちゃんママは最近日曜  
へ。ママは最近日曜  
日に仕事が多い。こ  
ごぞとばかりにおで  
かけする。ママはい  
つも言う「なんでマ  
マがおらん時に出か  
けると！ママがおる  
ときは出かけんのに。  
自分たちばかりよ  
かもん食べてからず  
るい。自分たちばっ  
か。」と。ママがお  
16時からの2本。  
それまで長崎ぶらぶ  
ら。市電に乗り、グ  
ラバー園のある大浦  
天主堂へ。  
市電初乗り？のあ  
おちゃんらんちゃん。  
知らない人をジッと  
見るあおちゃん。な  
ぜだかジッと見て、  
かたまる。緊張して  
るのかな？大浦天主  
堂までの道は、ちよつ  
ときつめの上り坂。  
歩くのが大好きなあ  
おちゃん。のぼれる  
かな？と歩いてみる  
と、サササササッ  
とのぼれるあおちゃ  
ん。観光客の人たち  
をよけながら歩くあ  
おちゃん。まだ一歳  
なつたばかり。遠足  
で日焼けした腕を見  
せてチヨロチヨロッ  
と。らんちゃんもの  
ぼれるもん。らんち  
んもチヨロチヨロッ  
と。のぼつた先にあ  
るのが大浦天主堂。  
中に入るには入場料  
があるが下からみえ  
る。首が痛くなりそ  
うなくらい大きい天  
主堂。の下のお土産  
屋さんを散策。  
パパとらんちゃん  
でお店に入ると、目  
に飛び込んだのがア  
ンパンマン。じいちゃ  
んを呼びに行き「こ  
れとこれ」と言い  
買って買って攻撃。  
恐ろしい。  
さて、次は長崎孔  
子廟中国歴代博物館。

るときに出かけよう  
とするとまだ早いと  
か疲れたけん帰ろ  
と言うのに、ダダこ  
ねるママ。そんな感  
じのママぬきで長崎  
へ。  
朝9時から早い者  
勝ちのチケット売り  
のため早起き。8  
時半頃につきすでに  
暑い。風は気持ちい  
いが暑い。1時から  
販売開始の帆船乗り  
のチケット。無事チ  
ケットを買えた。帆  
船乗りは12時からと

中国の偉い人？の銅  
像がたくさん。怖が  
りのらんちゃん「こ  
わくないもん」  
と言いつつ後ずさり  
と怖いもの知らず  
のあおちゃんは、走  
つて銅像につっこむ。  
「握手してみ？」と  
言うおと恐る恐るす  
らんちゃん。あおち  
んはパシパシしたく。  
鬼に似た銅像の前で  
は怖がりまくりのら  
んちゃん。パパにし  
っかりしがみつけれ  
ない。  
博物館の中に入る  
と遊牧民の展示中。  
透明なケースに入っ  
た展示の物。そこを  
勢いよく走り出した  
あおちゃん。幸運に  
もお客さんは誰もい  
ない。ゲラゲラ笑い  
ながら走る。絶対ぶ  
つかる！と思つたけ  
どちゃんとかわして  
いるあおちゃん。  
サッカーの練習か  
な？長崎は車や人が  
多くなかなか歩けな  
かつたあおちゃん。  
博物館が一番歩けた  
かな？いや走つた  
ね。そんなこんなし  
ていると時間は、あ  
つという間。時計見た  
ら11時過ぎてる。  
慌てて帆船乗り場に  
戻る。2回目の市電。  
朝より人が多い多い  
蒸し蒸しした車内。  
外も暑いが中よりも  
涼しいくらいにムツ  
とする。

さあ、メインの帆  
船。なのに、みんな  
クタクタ。そして腹  
ぺこ。楽しいはずの  
60分の観光船。  
そんな中、元気な  
2人の子。あおは歩  
きたいんだー！と言  
うようにうごくあお  
ちゃん。海風に打た  
れ上機嫌で嬉しそう。  
暑くてクタクタだつ  
たけどよろこぶらん  
ちゃんとおおちゃん  
を見てると元氣にな  
れる。よろこぶ顔が  
見たくてきてるのだ  
からやつぱり嬉しい。  
おなかすいたららん  
ちゃんあおちゃん。  
こんな時もあるうか  
と、じいちゃんか  
食べなかつたおにぎ  
りを持ってきた。ら  
んちゃん「半分こ  
こ」と言う。あおち  
んは、はよくれーと  
いう感じで前のめり  
になる。  
しつかり者の姉ち  
んのらんちゃん。元  
気でちよつぱりワガ  
ママなあおちゃん。  
しつかり姉妹してる  
お2人さんフリー？  
とすれ違う時らんち  
んは「船！船！バイ  
バイ」とテンション  
が上がり指さす。  
いつも車の中でト  
ラックやバス、電車  
に「バイバイ」する。  
あおちゃんも負けな  
いくらいバイバイで  
きる。少しづつ大き  
くなり少しづつ成長  
してく二人の子。甘  
えん坊大会のような  
感じをしている時も  
ある2人。ぐずつて  
も可愛いよ。次はど  
こ行く？

蔵のギャラリーで同  
郷で関ヶ原町在住の  
水野理恵子先生の絵  
手紙展に始まります。  
その後、2010  
年に岐阜市の久保田  
陽子先生が、あつた  
かハートの絵手紙展  
をされた時、1ヶ月  
の展示の間に2度ほ  
ど体験教室を持つて  
頂きました。  
陽子先生が来れない  
時は、同じく認定講  
師のお母さん、松巾  
先生が来てくれて、  
初めて筆を持ったの  
です。それから太宰  
府の郵便局で「これ  
だ！」と見た今の教  
室の皆さんの絵手紙  
展示まではずいぶん  
時が経ちました。が、  
すぐに入会を申し込  
み今に至るといわ  
けです。  
縁とは不思議な物  
で、大垣で出会った  
久保田陽子先生と、  
太宰府の師、土岐和  
子先生が同じ年の会  
員で陽子先生の展の  
時にまだ出会ってい  
ない、土岐先生が風  
地蔵へ絵手紙を送つ  
てくれていたことに  
も驚きです。ライン  
ですぐに見せてもら  
いました。鎌澤店長  
が大事にしまつてく  
れていたので。人  
よりもうんと先に絵  
手紙で出会っていた  
偶然。  
絵手紙と、土岐先  
生と出会う運命にあ  
つたのでしようか。そ  
んな不思議が、絵手  
紙には沢山あると感  
じています。いま、  
土岐先生がボランティア  
アをされているデイサ  
ビスへ連れて行つて  
もらいました。誰に  
何を伝えたいですか。  
「孫に会いたい」お  
ばあちゃんの言葉で  
す。絵手紙は絵じや  
なくて、字と言葉の  
ある手紙です。心の  
声をポストに入れま  
すよ。

3月に日本絵手紙  
協会認定講師の資格  
を頂きました。  
絵手紙との出会いは、  
16年前の風地

## 川風

しらいしみほ

3月に日本絵手紙  
協会認定講師の資格  
を頂きました。  
絵手紙との出会いは、  
16年前の風地

蔵のギャラリーで同  
郷で関ヶ原町在住の  
水野理恵子先生の絵  
手紙展に始まります。  
その後、2010  
年に岐阜市の久保田  
陽子先生が、あつた  
かハートの絵手紙展  
をされた時、1ヶ月  
の展示の間に2度ほ  
ど体験教室を持つて  
頂きました。  
陽子先生が来れない  
時は、同じく認定講  
師のお母さん、松巾  
先生が来てくれて、  
初めて筆を持ったの  
です。それから太宰  
府の郵便局で「これ  
だ！」と見た今の教  
室の皆さんの絵手紙  
展示まではずいぶん  
時が経ちました。が、  
すぐに入会を申し込  
み今に至るといわ  
けです。  
縁とは不思議な物  
で、大垣で出会った  
久保田陽子先生と、  
太宰府の師、土岐和  
子先生が同じ年の会  
員で陽子先生の展の  
時にまだ出会ってい  
ない、土岐先生が風  
地蔵へ絵手紙を送つ  
てくれていたことに  
も驚きです。ライン  
ですぐに見せてもら  
いました。鎌澤店長  
が大事にしまつてく  
れていたので。人  
よりもうんと先に絵  
手紙で出会っていた  
偶然。  
絵手紙と、土岐先  
生と出会う運命にあ  
つたのでしようか。そ  
んな不思議が、絵手  
紙には沢山あると感  
じています。いま、  
土岐先生がボランティア  
アをされているデイサ  
ビスへ連れて行つて  
もらいました。誰に  
何を伝えたいですか。  
「孫に会いたい」お  
ばあちゃんの言葉で  
す。絵手紙は絵じや  
なくて、字と言葉の  
ある手紙です。心の  
声をポストに入れま  
すよ。

蔵のギャラリーで同  
郷で関ヶ原町在住の  
水野理恵子先生の絵  
手紙展に始まります。  
その後、2010  
年に岐阜市の久保田  
陽子先生が、あつた  
かハートの絵手紙展  
をされた時、1ヶ月  
の展示の間に2度ほ  
ど体験教室を持つて  
頂きました。  
陽子先生が来れない  
時は、同じく認定講  
師のお母さん、松巾  
先生が来てくれて、  
初めて筆を持ったの  
です。それから太宰  
府の郵便局で「これ  
だ！」と見た今の教  
室の皆さんの絵手紙  
展示まではずいぶん  
時が経ちました。が、  
すぐに入会を申し込  
み今に至るといわ  
けです。  
縁とは不思議な物  
で、大垣で出会った  
久保田陽子先生と、  
太宰府の師、土岐和  
子先生が同じ年の会  
員で陽子先生の展の  
時にまだ出会ってい  
ない、土岐先生が風  
地蔵へ絵手紙を送つ  
てくれていたことに  
も驚きです。ライン  
ですぐに見せてもら  
いました。鎌澤店長  
が大事にしまつてく  
れていたので。人  
よりもうんと先に絵  
手紙で出会っていた  
偶然。  
絵手紙と、土岐先  
生と出会う運命にあ  
つたのでしようか。そ  
んな不思議が、絵手  
紙には沢山あると感  
じています。いま、  
土岐先生がボランティア  
アをされているデイサ  
ビスへ連れて行つて  
もらいました。誰に  
何を伝えたいですか。  
「孫に会いたい」お  
ばあちゃんの言葉で  
す。絵手紙は絵じや  
なくて、字と言葉の  
ある手紙です。心の  
声をポストに入れま  
すよ。

ちよつと立ち話

お便り、新聞いつもありがとうございます。新メニューの発表も、いつも楽しみにしています。お便り、新聞いつもありがとうございます。新メニューの発表も、いつも楽しみにしています。お便り、新聞いつもありがとうございます。新メニューの発表も、いつも楽しみにしています。

いよ。あまでうす。さんとエッセイの先生。店長の九州旅行も最終日。初めて会われたあちゃん（ぱら）と聞きまし。そら、2年弱ぶり。にあわたらんちや。ん。別れたらさびしいです。本当に楽しく、思い出になつた。九州旅行でしたね。カイト君は文から優しさや、子どもを育てる一生懸命さをわかってきます。毎日らんちゃんあおちゃんのが笑顔をみれること。一番の幸せですよ。私もイチローの引退会見全部見ました。平成のスーパースターです。父への感謝は照れくさいのもあったのでしようかね？（大橋）

本元気が一番です。ソラちゃんよ。す。リクちゃんも寂しくなつたでしょうね。凱翔君の子育て、みんなどふんとうして。いる姿が目には浮かびます。人形劇三昧よかったです。ね。でた。社長のベスト3。感動が伝わってきます。「イチロー」は、特別です。野球ファンでなくても存在が大きい方ですもんね。誰にでも思い出の曲あります。ね。ちなみには、だんながよ。くうた。た。いた。松山千春の長い夜ですね。（鎌澤）

長いおつき合いをさせて頂いてます。お礼も言わず済みません。お流れた。速さ。驚くばかりです。いろいろ災害があつたり、この先のこと。を考えると不安になります。でも毎日普通に送れることに感謝して。また黒川に来ていた。だ。く。日。を。お。待。ち。し。て。い。ま。す。温泉 富士屋 穴井 智恵美

おみのインタビュー、スキージャンプ、カーリング女子などなど、あきません。なかでもさすが食品サンプルの街ですね。宴会をしている料理がリアルです。おいしそうです。サンプルのお店もみてきました。が、リアルでどれもこれも欲しい！！と思いましたが、どれか一つが選べなくて断念しました。又来年も観たいなあ。さて、らいねんはどこにいきましよう。来年をお楽しみに。では来月は、還暦旅行鎌倉編です。おわり

福よせびな

鎌澤 宣子

3月17日、郡上八幡に福よせびなを観に行ってきました。久しぶりの遠出です。ト！もちろん息子とです。去年2人のお客様から同時期に福よせびなの事をお聴きして、豊川二川宿に観に行っていました。岐がきつかけです。上八幡内では、唯一郡上八幡一帯であるのを知って息子に頼んで連れて行ってもらいました。なんと当日、雨の予報が、出発して間もなく雪がちらつきはじめ、息子が「今日の雨じゃなかつたの？雪やん」一本

当や。寒いはずだね」といながら郡上八幡に向かいます。郡上八幡に着いた時は、ふぶいていました。どこに車を止めようかと探しながら、八幡城にもいきたくし、という事で、郡上八幡博物館の駐車場に止めて、歩いてお城に向かいます。矢印に沿っていくと、お寺がありその角を曲がるとびつくり！「えっつっつ！この坂のぼるの？」なんと目の前にあらわれたのは、傾斜角度60度はあるうかという急な坂です。案内板には、90メートルと書いてあったので、それ位なら歩いてもしれてるよね。という事で歩き出しました。それこそダチョウくらぶのもち

ネタの「きいてないよ」です。はあはいいいながら登り切ると、八幡城が目の前にドーンと。今まで行ったお城とは違って靴のまま入れます。中に入ると一階部分の展示物の中にいろんな格好をしたおひな様がありました。おひな様もみんな話をしてるおひなさま。密談していろいろおひな様。武器のそばには、忍者などなど、観ていて飽きない演出をしています。二階以降は展示物が少ないので、外の景色をみながら上までいってきました。お天気がよければ、素晴らしい景色が広がっています。お城を出て街に降

りて、お店の中に入っている、どこにおひなさまがいます。う、コーナーを設けてあるのかと思つていたら、そうではなくて。えっつっつ！！こんなところにもと発見する喜びで、今度はどこにいるんだろうと探すのが楽しくてぐるぐる観て廻りました。最後に博物館に行きました。ここでは、郡上おどりの実演がみれました。若い女の子3人が浴衣を着て、郡上おどり専用の下駄をはいてみせてくれます。1つ1つ解説しながらなのでよく分かります。ついつい踊りたくなつてしまいました。ここでも福よせびなが、バレーボールをしていたり、大阪な

おみのインタビュー、スキージャンプ、カーリング女子などなど、あきません。なかでもさすが食品サンプルの街ですね。宴会をしている料理がリアルです。おいしそうです。サンプルのお店もみてきました。が、リアルでどれもこれも欲しい！！と思いましたが、どれか一つが選べなくて断念しました。又来年も観たいなあ。さて、らいねんはどこにいきましよう。来年をお楽しみに。では来月は、還暦旅行鎌倉編です。おわり

二つの海

杉原 幸子 (大垣市)

私は1940年(昭和15年)千葉(昭)浦安市で生まれ、10歳まで浦安で過ごし、安という、誰もが「デイズニールランドの街」と言いますが、私が過ごした頃は漁業の街であり、あさくさのりの街でした。父は漁師。今でも覚えておられるのは、自宅から歩いて毎日のように貝ひろいに出かけていた事です。海辺は子どもたちの笑い声と砂だらけの手をひろげた笑顔にあふれ、その光景は頭に焼きついていま

父の実家は大きな「佃煮屋」で、店の裏では30〜40人のおばさんたちが正座してならび「貝むき」をしていました。その速いこと、それが見たくてよくでか「よく来たね」と言われたり、「じゃまになるので帰りなさい」と言われたりしたものでした。海苔を「天干し」(太陽で干すこと)するたのめ「串さし」も覚えていきます。「あさくさのりづくり」(漁業の街、太平洋(東京湾)の海の恵のある街での生活でした。それが戦争で一変しました。父は戦場

宅を行ったり来たりの日、「防空ごう」に行くことをやめた母。自宅の縁側に座ぶとんを敷き、母と私、3歳下の弟の三人が並んで、海に落ちていく飛行機を眺めていたのでした。浦安の街も火の海になりました。幸いにして、私たちが住んでいた「堀江」という町内は焼けずにすみました。と弟はきちんと着物に着せられ、母に手を引かれ海辺に。ひさしぶりの海に弟と二人、大よろこびで大はしゃぎだったこと、そして母が「着物」のたもと(袖)に石をたくさん入れるように「と言いつつ、これもおもしろくて弟と競争して石を入れ

ることになりました。私、10歳でした。大垣市で、当時汽車に乗り、海水浴場のあたる「くじら波」に行つたものです。日本海は荒波が多く、泳ぐというより、波のり、波くぐりでした。「くじら波」の駅は海のすぐ上の方にあり、汽車がくると手をふり、今思うと絵にでてくるような光景でした。柏崎駅から真つすがに歩いて行ける海は「柏崎の海」と言っていました。海はなぜか私にとつては童話「砂山」(海は荒海、むこうは佐渡よ・・・)の海辺でした。佐渡ヶ島がかすみにみえた時は心がワクワクしました。何歳になつても柏崎の海は第二の故郷の海です。

私の家は生活保護の家庭で、当時、生活保護をうけている子どもは高校に行けず、私も中学を卒業してすぐに岐阜県の大垣市にある紡績工場に就職しました。「父をうばったのは戦争ではないか」と、戦争を憎みました。でも、その時私の背中を「ガンバレよ」とおしえてくれたのが日本海の荒海でした。一年一度の帰省の時は、北陸線で日本海の荒海と対面します。そして、勇気をもたらすのです。北条中学校の同窓会の会場は越後湯沢ですが、出席の折はやはり北陸線で日本海をながめます。私の人生を応援してくれた日本海の荒海に会うためです。でも、とうとう、あと何回荒海をみる事ができるかという年になってしまいました。私には、幼い頃笑顔で貝ひろいした浦安の海、戦争で母が死を選ぼうとした浦安の海―太平洋―、そして高校に行けず就職した私に「ガンバレよ」と背中をおしてくれた柏崎の荒海―日本海―があり、私に「二つの海」は浦安の海と柏崎の海です。私は平和を願って人生を生きてきましたが、考えてみますと、太平洋と日本海、世界に繋がっている海です。世界中の平和を祈っています。

「グローブ」

10年くらい使ったグローブの紐が切れた。新しく買うことに。ミズノ、ゼット、SSK、ナイキ、ローリングス。。。ああ、迷う。今のは巨人の「上原モデル」その前は「イチローモデル」それじゃあ「大谷翔平モデル」でいいかと思っていた。小学生の時使っていたファーストミットは何故か「タイガー」ドラゴンズファンなのに今思えば不思議。倒産した「美津和タイガー」のブランドが最近復活。ネットでメーカーから直接購入。嬉しくって時間があればグローブを触っている。人生で親に買ってもらって一番嬉しかったのは「グローブ」だった。次男と三男はお古を使っている。そのうち買ってあげようと思う。

庭師 奥田良樹